

週報



2017年 年頭標語

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう

2017年 VISION

幸せな家庭 健康な教会
国家と世界に貢献する統一運動

2017年 活動指針

1. 理想家庭と心情共同体形成
2. 神氏族メシヤ活動と家庭教会促進
3. 二世圏活性化と祝福推進強化
4. 社会貢献と救国救世基盤造成

世界平和統一家庭連合

FAMILY FEDERATION for WORLD PEACE and UNIFICATION

加賀家庭教会

KAGA FAMILY CHURCH

教会長：我那覇真

み言

天の夢を実現する二つの精誠！

● 中間位置にいる墮落人間を、神はどのようにしたらサタンから分立させることができるであろうか。サタンは元来、血統的な因縁をもって墮落人間に対応しているのであるから、あくまでも人間自身が、神の前に出ることのできる一つの条件を立てない限り、無条件に彼を天の側に復帰させることはできないのである。

一方においてサタンも、これまた人間の創造主が神であることを熟知しているので、墮落人間自身に再びサタンが侵入できる一つの条件が成立しない限りは、かかる人間を無条件に奪っていくことはできないのである。それゆえ、墮落人間は彼自身が善なる条件を立てたときには天の側に、悪なる条件を立てたときにはサタンの側に分立される。

(原理講論 結論(一) 蕩滅復帰原理 1. 蕩滅復帰)

● アダムが創造目的を完成するためには、二つの条件を立てなければならなかった。

その第一条件は「信仰基台」を造成することであったが、ここにおいては、もちろんアダムが「信仰基台」を造成する人物にならなければならなかったのである。その「信仰基台」を造成するための条件として、彼は善悪の果を食べてはならないと言われた神のみ言を守るべきであり、さらに、この信仰条件を立てて、その責任分担を完遂するところの成長期間を経なければならなかった。そうして、この成長期間は数によって決定づけられていくものであるがゆえに、結局この期間は、数を完成する期間であるということもできるのである。

● 一方、アダムが創造目的を完成するために立てなければならなかった第二の条件は、彼が「実体基台」を造成することであった。

アダムが神のみ言を信じ、それに従順に従って、その成長期間を完全に全うすることにより「信仰基台」を立てることができたならば、彼はその基台の上で神と一体となり、「実体基台」を造成することによって、創造本性を完成した、み言の「完成実体」となり得たはずであった(ヨハネ一・14)。アダムがこのような「完成実体」となったとき、初めて彼は、神の第一祝福であった個性完成者となることができたはずである。もし、アダムが墮落しなかったならば、彼は前述したとおりの経路によって創造目的を完成したはずであった。 アージュ！

(原理講論 結論(一) 蕩滅復帰原理 2. メシヤのための基台)

